

シールド・フレキシブル型 バンドヒーター

構造は、フレキシブル型の発熱体両側面の切り込みを行わないものですが、使用する材料を薄くし、発熱体の巻き方に至るまで柔軟性を考慮して製作されて居ります。

この為フレキシブル型と同様に1ピース型でもヒーターを拡げて加熱筒へ装着する事が出来ます。

但し、フレキシブル型に比べ多少力が必要になります。

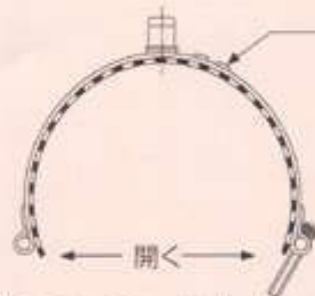
上記のフレキシブル型が、ケースの両側面に切り込みを入れる為、樹脂漏れなどに対して危険感があるので（実際はノズル部を除きその危険はないのですが）、設計されたものです。

ヒーターケースに爪を立てバンドの孔を通して折り曲げヒーターとバンドを固定する方法は、当社の特許になって居ります。



シールドフレキシブル型
バンドヒーター

リード式フレキシブル製
バンドヒーター



PATによりヒーターとバンドが一体化されているのでシリンダーへの装着が極めて容易であります。

ヒーターの取付けには左図の様に、中央端子型フレキシブルバンドヒーターが最も生産性が良いので、最近このタイプがベストセラーになって居ります。

中央端子型フレキシブルバンドヒーター

PAT NO.1383552